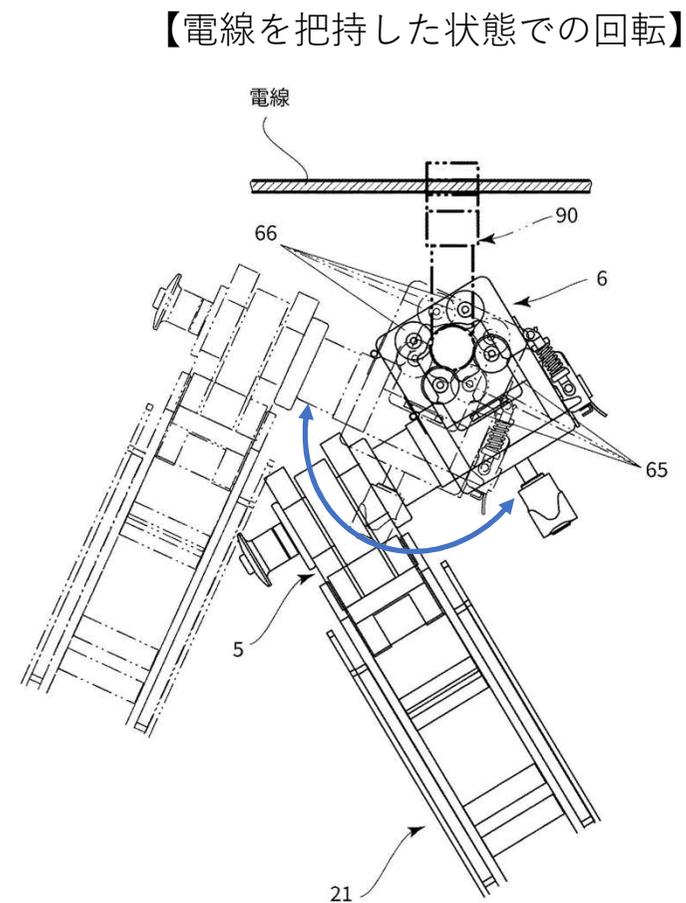
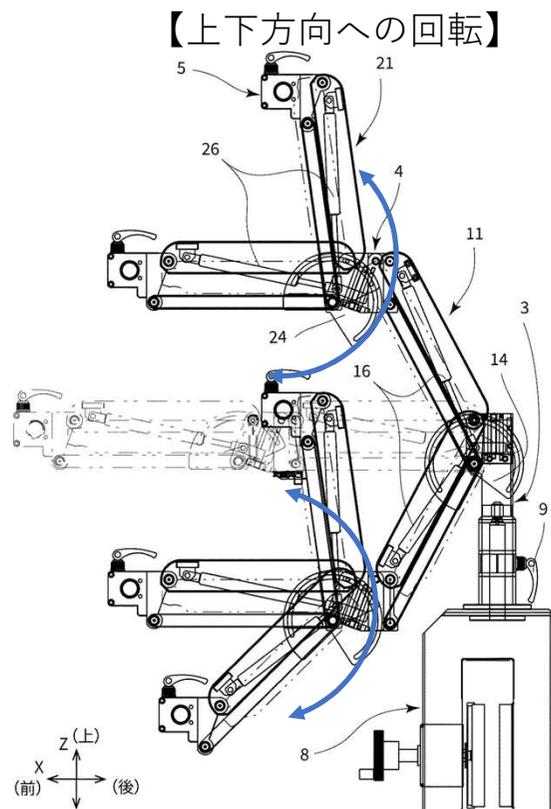


名称	高所作業を“軽さ”で支える補助アーム (特許第7281420 作業用補助装置) 株式会社ダイヘンとの共有	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	複雑な構造で使いにくく、また、作業範囲の狭さなど従来の作業補助装置の課題を解決する。		
導入のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①この作業補助装置は、平行リンクを構成する2つのアーム部が直列に接続されているため基部（高所作業車）に対して、活線工具をより広い範囲に変位させることができる。</li> <li>②装置に設けたスライド駆動手段によりケーブルの太さに応じて回転体間の距離を調整できるため、ケーブルの径に関わらず安定した状態で送り出すことができる。</li> <li>③装置は躯体とは別の支持板に取り付けられ、一体となった装置と支持板を躯体上に配置してクランプなど固定することで、躯体への加工をすることなく本装置を使用することができる。</li> </ul>		
アピール内容	<p>間接活線用の工具は重く、また高所作業車上での作業となるため、作業を補助する装置が提案されていますが、これら従来の補助装置は複雑な構造のため使用することが難しいという課題があります。本装置は、平行リンクで構成される2つのアームを回転自在の間接で直列に接合するため、装置先端に取り付けた活線工具の作業範囲を広くとることができます。また、各アームにはガススプリングを備えており、より少ない力で活線工具を動かすことが可能となります。利便性の高い本装置を使用することでより効率的に活線作業を実施することができます。</p>		

## ◆活用のポイント



- 3か所の接合部を始点として第1アーム、第2アーム、工具取付部が上下方向に回転稼働する。  
→操作性が向上するとともに小回りがきき、かつ、作業範囲を広げることができる。

- 装置の小回りが利くため、工具で電線を把持した後に装置を回転させても、把持の状態を維持できる。  
再度、つかみ直す必要がないため作業効率を向上させることができる。

